

今月のリフォームおしごと

昨年9月に私の仕事への考え方が京都新聞に取材記事として掲載されました。それをご覧下さった右京区太秦にお住まいのT邸様のお宅のリフォームです。

築年数も30年を経て、風呂場やキッチンに痛みが感じられ、今後の生活を見据えての快適生活を目指す工事でした。

特に風呂場内が狭く、この部分のみ増築し、ユニットバス設置となりました。「足がのびせる浴槽になり、気分も快適です。リラックスできるこのスペースが一番気に入っています。リフォームして本当によかったです。」とのご感想を述べられた奥様。仕事をお持ちの奥様で、私達が工事を行っている間は、台所・洗濯・入浴のご不便をおかけし、申し訳なく、一日でも早く出来上がる様に皆で協力しました。



施工前



施工後

風呂場内のチェックポイント

タイル貼りの部分には、タイルとタイルの間に目地が入っています。その目地が取れてしまうと、そのスキ間から水が入ります。チョットしたそんな事が白アリ発生の原因にもなる事があるので要注意。(風呂おけとタイルとの間も同じですよ。)

お陰様で無事出来上がりました。私達はお使いになれる方々の心に寄り添って、夢をかなえるリフォームのお手伝いをしています。

今回も又ステキな出会いが頂けて感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。



地震保険の豆知識



①「地震保険」とは

地震・噴火・津波を原因とする火災・損壊・埋没・流失によって、保険の目的について生じた損害を補償するもので、法律に基づき政府と民間の損害保険会社が共同で運営している制度です。

②保険を付けられるのは？

居住用の建物と家財です。

③保険金額は？

火災保険金額の30%～50%までの範囲となります。
※地震保険単独での契約はできません。火災保険とのセットとなります。
※ただし建物は5,000万円、家財は1,000万円が限度です。

④支払い保険金は？

実際の損害額ではなく…次の3つです。 ※ただしいずれも時価全損（保険金額の全額）、半損（保険金額の半額）、一部損（保険金額の5%）

地震保険は実際の損害額を補償するものではなく、建物が全壊して地震保険が支払われても同じ家を建てるだけ保険金はおりません。

実際全国的に見ても加入率は概ね3割以下で、必要か不要かの判断は難しいところ。復興へ向かうために自分の現預金などの資産で賄うか、地震保険の助けが必要かは個々の考え方や価値観が大きく変わってきます。尚 詳細については各保険会社、保険代理店にお問い合わせ下さい。

(情報提供 株式会社H&I 代表取締役 日種崇雄)

♡ しあわせさん。今日も届け物ありがとう。最後までお読み頂きありがとうございました ♡



平成23年 5月 31日 No.27

リフォームセンター塚本

TEL (075)392-0464

http://www.house-pro.jp/ FAX.393-4380

今年はおかげさまで30周年を迎える事ができます。

私達は親身になっての「まごころ施工」と、いつも「おかげさま」の心根をもった家まもりに徹します。

家まもりとは、住む人の身になって大切に家を守る事を仕事とします。



頑張ってるキュウリの花・わが家の庭にて(撮影 つかもとあけみ)

最近のマスメディア、特にテレビの話題には原子力の事や夏の節電方法等が取り上げられています。本当の事をわかりやすく話して下さるのは誰なのか？そしてどこまで信じていいのか？疑問の心をもつのは私だけでしょうか。ただ言える事は、どんな事でも自分の目と頭でしっかりと見定めて理解する事だと思います。

これからやってくる梅雨や夏への準備は皆様されていますか。私達の子供の頃の夏は、本当に暑かった。汗をふきふき食べたあの「かき氷」がものすごくおいしかった。行水をして汗を流す事だけでも快感だった。そんな昔に今は戻る事はできないかもしれませんね。

でもチョットした節電やエコな生活は出来ますよ。私は冷蔵庫の中に節電カーテンを取り付けたり、小さな庭にキュウリも植えています。キュウリに花が咲き、水やりをしていますと、小さなしあわせと楽しみがそこから生まれます。そんなささやかな事が有難いと心から感謝をしています。

毎日少しだけ「頑張ろう日本」を実践しています。どうぞ日々お健やかに過ごして下さいませ。

つかもとあけみ

どこに頼んだらいいのかわからない...

そんな時、家まもり安心サービスに声をかけてネ!

今回のご相談

「お風呂場の入口付近に羽根アリが飛んで困っています。」そんなお電話がかかってきました。17年前に一度駆除工事をさせて頂いたお宅です。

私がお宅の日に訪問し、一日でも早くと思い、あくる日に工事をして無事終了。

「すぐに工事をしてもらえて大助かり。ありがとうございました。」お客様にとっても喜んで頂け、迅速な段取りが安心をお届けできました。

どなた様もお気軽にどんな事でもご相談下さい。スタッフ一同が力を合わせて取り組みます。

家まもり安心サービス受付所
TEL 075-392-0464
(リフォームセンター塚本)



家まもりスタッフ
塚本康仁です。

家まもりという仕事はリフォームセンター塚本の仕事の1つです。大きなリフォーム工事も小さな修繕工事も喜んでさせていただきます。そしてすぐにお伺いします。早く手を入れられる事と、定期的な点検で家を大切に守っていきます。それが私達の使命です。

お客様の皆様へ 施工させて頂いた箇所に不具合が生じた時には、どんな小さな事でもご連絡下さい。すぐにお伺いします!



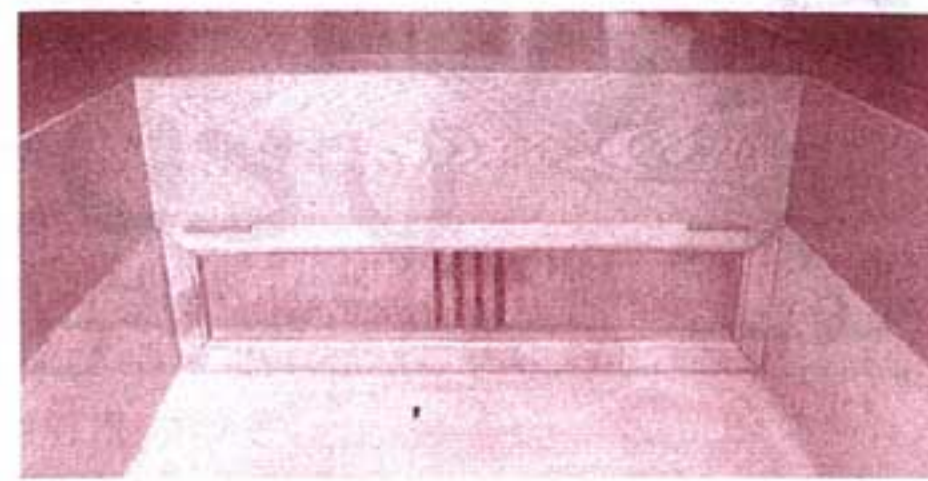
INAX リフォーム

イナックスネットワークの登録店になりました。

塚本康仁の ちょっとひとくふう



以前に仕事をさせてもらったお宅に、こんな物を作ってみました。
←これ何かわかりますか。
床下換気のための私の工作です。寒い冬はガラリがしめられ、床下からの寒さをシャットアウトします。



↑通り庭に設置しました。このアイデアはお客さんからも好評でした。床下の換気は家のために大切な事です。家まもりはこんな事にも知恵を使っています。

お客様からの投稿コーナー

今回は博さんと道子さんからの投稿をご紹介します。

やさしいまちの風景

朝陽がのぼり過ぎたころ、元気な小学生たちの登校班が通り過ぎてゆく。「おはよう」のことばから、今日一日の元気をもらう。

それに続いて行列の後ろに付き添うのは、後期高齢者…いや高貴高齢者である。高齢者と子供たちの対話のあるグループである。

ちょっとした言葉のやり取りから生まれる、和やかな心の環境は、まちの安全安心対策の一環とみる。

(山科在住の博さん)

私の一日は五時前に起きて、ラジオをききながら息子の弁当を作ることに始まります。冬の朝はらぶらびり辛いです。ラジオから流れてくる懐かしい曲や、昔の歌を聞きながら、ラジオといえ、この度の東日本の大震災では携帯電話も通じず、テレビも見られず、電池が使えないラジオの重要性を改めて実感しました。また、デジタル化されたことでも、古いモノを見直す機会になったのでは無いでしょうか。また人と人と助け合おう、このすばらしい世の中が、みんなにデジタル化されよう、と一番大切な人の心だけをずっとずっとアナログでつながっていたいと切に思います。

道子

道子さんからのおハガキ

採算を度外視、がむしゃらに…

なつかしい新聞記事 ※昭和59年1月15日 京都新聞掲載



夫の左官手伝いから
こんな人が近くにいますけど、日曜版でとり上げてもらえませんか、と女の子の人から電話がかかってきた。とにかく、家のことなんなんでもやる、そのために勉強にも行っているし、次々と新しいことを始める。熱心なんです。電話の人はそう説明してくれた。

そんなことがあって、塚本明美さん(三〇)西京区牛ヶ瀬南ノ口町に引っ越したが、なるほど、その仕事にける情熱は大変なもの。何か仕事をやりたいかと思っている主婦には参考になるかもしれない、と思つて塚本さんのケースを紹介することにした。

「十年の間には仕事をめくっていろいろなことがあり、多くの人に大変お世話になりました。自分のできることで、何か困っている人にご恩返しできないかと考えてきたんです。」

左官の仕事とどうも離れず、自分もできることというので「住まひの便利屋」にした。夫は当初、明美さんが別の仕事をすることに反対だったが、諦めずした。仕事の種類はペンキ塗り、雨どり修理、網戸の張り替え、花壇づくり、門柱張替え、フロアの改造、トイレ張り替えなどいろいろある。一昨午四月、付近一帯にチラシを配って宣伝し、開業した。

待っている電話がかかってきた。第一号の仕事は南区で、便所のトイレの愛着したメシの修繕だった。収入は三千円。それから一年半の間に受けた注文が約四十件。なかにはトニに入ったボールをとってほしいというようなものまであった。

「東京では便利屋が仕事になっっているけれど、京都では家の中を女にのぞかれるというのがいかに恐ろしくねえ。それに、何よりも小さな小さいところでは信用してもらえないんです。チラシ一枚ではなかなか信用してもらえませんが。」

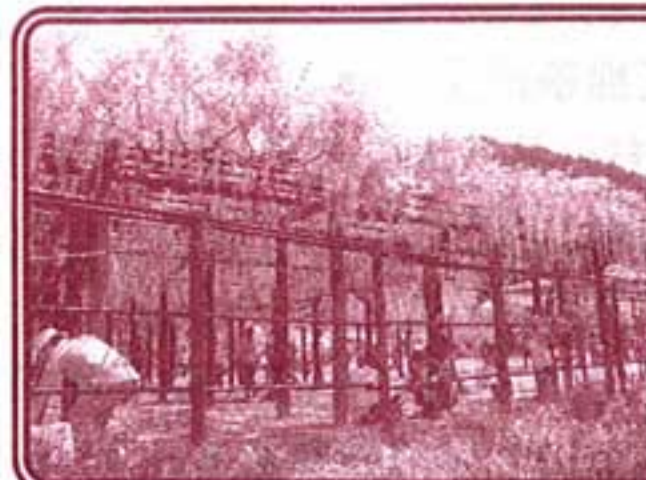
↑はずかしながらこの記事が京都新聞が取材下さった第一号です。(昭和59年1月15日掲載・亀井記者取材)その後は何度も取材を受け、読者の方々からの仕事依頼も頂きました。年数を重ねて皆様方の信頼が得られ、当店も順調に成長させてもらっています。初心忘れず、いつもまごころ施工を心がけます。皆様に愛される「つかもとあけみちゃん」となれます様に。そんな思いをいつも心に秘めて仕事をしております。ちょっとだけ昔の私を紹介しました。(あーはずかし)

マイベストプロ京都に掲載されました!

京都新聞社が運営する「マイベストプロ京都」は頼れるプロを紹介する地域密着型のWEBガイドです

<http://mbp-kyoto.com>

↑このサイト内のブログもみてね!



ちよっとおどがけ

山陰一の藤棚と言われる白井大町藤公園に行ってきました。見事な藤の花、人・人・人でした。

今月の勉強会「楽の会」



会の初めは「経営理念の唱和」と「あいさつの仕方」からです。第二回目の各職方さんの仕事紹介コーナーは東出電機商会の東出さんです。今話題のLED照明について仕入先の担当者さんがわかりやすくご説明下さいました。LED照明はいろんなメーカーから発売されています。信用できる会社の製品を購入されるのが賢明との事でした。質問が出て有意義な勉強会となりました。